

軍艦奉行

木村撰津守喜毅せつつかみよしの

子孫に繋がる

著者が書いた

咸臨丸太平洋横断航海の

実相に迫る

歴史ドキュメント

# 咸臨丸の絆

軍艦奉行

木村撰津守と

福沢諭吉

宗像善樹著

最新の咸臨丸  
乗船者名簿  
(咸臨丸子孫の会提供)

木村家所蔵写真

2014年

8月12日発売

四六判(上製) 256頁

定価(本体1,600円+税)

ISBN978-4-303-63431-5

# 咸臨丸の絆

軍艦奉行 木村撰津守と福沢諭吉

福沢が何よりも感動したのは、木村が主従ではなく、人間として同じ目線で話してくれていることであった。だから福沢は、船酔いで苦しむ木村に誠心誠意仕えた。そしてそれが、互いに、「木村さま」「先生」と呼び合う仲にまで昇華し、太い「絆」となって二人を結びつけたのである。本書は、その「絆」を木村家以外の門外漢では知り得ない貴重な資料を駆使して、物語っている。(解説より)

元東京商船大学教授

元帆船日本丸船長

橋本進氏

木村撰津守と福沢諭吉が

怒涛渦巻く冬の北太平洋を越えてアメリカへ渡ったことは、幕末動乱期を生きた二人の自己実現へ向けての命がけの挑戦だった

宗像善樹

著